

		(資料44) 研究所関係新聞記事一覧	
	年月日	タイトル	新聞社名
1	2001.4.7	年間3000万トン飛来、黄砂の発生源つかめ、日中が共同調査、被害緩和へ緑化検討	日経
2	2001.4.8	環境ホルモンを日韓で共同研究	毎日
3	2001.4.8	環境ホルモン 日韓、共同研究へ、環境相	朝日
4	2001.4.11	東風西風	環境
5	2001.4.14	北海道覆う大規模黄砂	茨城
6	2001.4.16	つくばの43施設をきょうから公開	朝日
7	2001.4.19	黄砂の流れ日中調査、年100万～300万トン日本へ、気象庁など観測機設置機構への影響解明へ	朝日
8	2001.4.20	「独立」で変わる国立研究機関、評価システムの確立が課題	朝日
9	2001.4.21	電気自動車ルシオール人気～環境研が一般公開～低燃費ガソリン車の1/5	常陽
10	2001.4.27	最近の桜が早い理由…環境省報告書初めて認める、「日本でも温暖化」 大気中の水蒸気量増加、温暖化に悪影響人間活動も原因に、研究見直しの必要性も蓄積データはまだまだ不十分	読売
11	2001.5.9	シグマテック、成層圏の微粒子濃度検出、福岡大と名大、計測装置を共同開発、国環研に第1号納入へ	茨城
12	2001.5.9	大気中の水蒸気増加、7カ国が共同研究、温室効果、オゾン層破壊も	日刊工業
13	2001.5.9	生態系破壊、地球規模で影響予測、国際共同研究来月スタート政策反映めざす	毎日
14	2001.5.15	環境対策と業績評価、企業の3割以上連動、国立環境研究所が調査	朝日
15	2001.5.15	環境対策を進める企業は対話を重視	日経産業
16	2001.5.16	世界最北のサンゴ礁確認、長崎・壱岐島40メートル沖	日刊工業
17	2001.5.16	世界最北のサンゴ礁、国立環境研長崎・壱岐島沖で確認	日経
18	2001.5.16	地球温暖化モデルを作る森田恒幸さん、「不確実」な未来と格闘	茨城
19	2001.5.16	霞ヶ浦の影響調査を、環境ホルモンで国に要望書、公明党県本部	毎日
20	2001.5.17	エコハウスに住んで、まだ開発途上の中水設備	茨城
21	2001.5.17	「環境ホルモン霞ヶ浦調査を」公明県議ら国に要望	読売
22	2001.5.19	企業の環境コミュニケーションー国立環境研究所がアンケート、地域社会との相互理解に重点、HPでの情報提供も進む	朝日
23	2001.5.20	最も「高度」なサンゴ礁、壱岐・郷ノ浦沖に900平方メートル	日本物流
24	2001.5.21	世界最北のサンゴ礁、壱岐島で確認	読売(九州版)
25	2001.5.21	国環研、2研究棟を完成、独法化と併せ30日に式典	読売
26	2001.5.25	環境ホルモン解明に力、つくば環境研に新施設	日刊工業
27	2001.5.31	25度で窓ガラス白濁、遮光、環境に優しい研究棟、つくば国立環境研に完成	茨城
28	2001.5.31	環境相、低公害車に試乗	朝日
29	2001.6.3	環境ホルモン地球温暖化、新研究施設が完成	朝日
30	2001.6.6	温暖化の防止は米抜きでも有効	読売
31	2001.6.9	国立環境研究所が施設を一般公開	朝日
32	2001.6.10	霞ヶ浦データブック発行、環境研、CD-ROMも、20年の調査結果収録	朝日
33	2001.6.15	インタビュー、国立環境研究所社会環境システム領域長 森田恒幸さん、環境保全と経済発展は両立できます	茨城
34	2001.6.23	温暖化ガス削減へ先端研究 実用化へ官民が知恵	朝日
35	2001.6.30	解体計画案概要など示される 新利根・旧清掃工場調査検討委	日経
36	2001.6.30	ダイオキシンで国立環境研報告 微量でも甲状腺に影響	毎日
37	2001.7.2	変動磁界の影響「確認できず」	日経
38	2001.7.5	3事業で研究者募集 科技振興事業団が基礎的研究で	日経
39	2001.7.5	水質浄化、生態系保全に期待 水辺の原風景 ヨシ復活へ 国土交通省 開発手法を転換	日刊工業
40	2001.7.6	商船使い海洋汚染調査 環境省、世界規模で まず日本郵船航海中に試料	読売
41	2001.7.6	海の魚にもメス化現象 コノシロ・マハゼ・ボラ 環境ホルモンが影響？ 国立環境研沿岸調査、全国で	日経
42	2001.7.10	中国、いずれ排出量1位に	朝日
43	2001.7.12	京都議定書 国際競争力低下を懸念 コスト増加が重荷に 日本企業「米抜き」に反対	朝日
44	2001.7.16	第4部 進化と多様性 共生の世紀へ 生きた化石 なぜ何億年も滅びない えさ食べ尽くさず確保	日経
45	2001.7.24	研究者と市民の情報交換を促進 国環研が「友の会」設立	信濃毎日
46	2001.8.5	国立環境研究所の民間支援組織発足	日本工業
47	2001.8.8	国立環境研究所が情報提供の「友の会」	読売新聞
48	2001.8.15	国立環境研来年度から 将来復元の夢/200種類保存へ 希少細胞「タイムカプセル化」 絶滅危く種よみがえれ	日経
49	2001.8.18	最先端の研究を一般向けに解説 国立環境研が情報誌	朝日
50	2001.8.23	NGOの窓ー研究所と社会の接点に	信濃毎日
51	2001.8.25	スギ花粉 精密予報 1時間ごと2日先まで 1都6県に 監視装置40台 環境省2003年から	読売(夕刊)
52	2001.8.27	化学物質のタイムカプセル 生物を冷凍保存 環境省	読売(夕刊)
53			日経

54	2001, 8, 28	研究内容を広く提供 友の会を設立 地方会員募る 国立環境研究所	秋田さきがけ (夕刊)
55	2001, 8, 29	環境分析の現状と課題 分析機器の専門家必要 信頼性高い環境情報を	環境
56	2001, 9, 9	冊子「環境儀」を創刊	毎日
57	2001, 9, 14	調査・報告から 環境情報開示に関する統計― 地域社会と取引先が上位に	日経産業
58	2001, 9, 16	社説 日曜日の朝をともに 自然との共生は可能だ ―「環境儀」を考える―	秋田さきがけ
59	2001, 9, 17	抑制への貢献 日本も 環境・エネルギーと地域の強調 京都議定書発効に向けて	朝日
60	2001, 9, 18	科学技術創造立国へ 今こそモノづくり 第3部 頭脳集積地 変革する筑波 国研、独法化で大変身	日本工業
61	2001, 9, 23	サンゴ ピンチ 白化現象 温暖化で多発のおそれ	赤旗
62	2001, 9, 23	絶滅種 時を超え復活狙え 「冷凍動物園」で遺伝子など保存	日経
63	2001, 10, 2	アジアの動植物網羅 データベース作り着手 国立環境研	日経産業
64	2001, 10, 22	土壌水銀 微生物で蒸気に 国環研、浄化技術を開発	日経
65	2001, 10, 23	黄砂 日中で共同研究 環境保全へ 衛星で地勢データ収集	読売
66	2001, 10, 28	メラトニンのがん抑制作用 電磁波が機能阻害 細胞のレベルで国立環境研確認	朝日
67	2001, 10, 28	社説 異常気象 国際観測の先導役を果たしたい	読売
68	2001, 10, 29	埋め立て有害物質の特性分析	日刊工業
69	2001, 10, 29	ディーゼル車排ガス ダニアレルギー悪化 国環研、動物実験で確認	日経
70	2001, 10, 31	毒性評価に「有用」 バイオアッセイ試験法 国環研が研究報告	環境
71	2001, 10, 31	先端技術 スーパーコンの相互利用網 つくばWAN整備急ピッチ 省庁の壁超えて用途開拓	日経産業
72	2001, 11, 5	森林のCO ₂ 吸収 産・官・学共同研究 国立環境研、北大、北海道電	日刊工業
73	2001, 11, 6	東京タワー周辺に強電磁波 市民団体調査 国によっては「有害」レベル	朝日(夕刊)
74	2001, 11, 7	北京など3都市 エアロゾルが高濃度 国環研、中国と共同研究	環境
75	2001, 11, 7	森林のCO ₂ 吸収能力 定量的計測手法確立へ 国環研、北大、北海道電力 育成過程通じ調査	環境
76	2001, 11, 14	アオコに悩む中国 毒素でがんや奇形多発する可能性も	朝日
77	2001, 11, 15	独立行政法人 57組織で役員100人増 4月発足後 次官越す報酬も	毎日(夕刊)
78	2001, 11, 19	細胞・組織バンク 創薬や再生医療に貢献 難しい培養・凍結の技術 野生動物の保存にも応用	朝日(夕刊)
79	2001, 11, 20	炭素循環メカニズム植物内固定化 地球規模で調査 温暖化解明へ生産量分布図	日刊工業
80	2001, 11, 26	国環研など新「吸着剤」 環境ホルモン微量も逃さぬ 検出コスト1割に	朝日
81	2001, 11, 29	環境・エコビジネス 都市部のVOC動態解明調査 国立環境研究所	日刊工業
82	2001, 11, 29	環境ホルモン東京湾に追え 横浜市大など来月から調査 汚染たまり場返上へ	朝日(夕刊)
83	2001, 12, 12	光化学スモッグ 消えた? 今でも年259日発令 昨年度・全国延べ 被害は激減、「元凶」車に	朝日(夕刊)
84	2001, 12, 12	水質総量規制のN・P対策で注目されるバイオ・エコエンジニアリング	環境
85	2001, 12, 15	妊娠ネズミにダイオキシン 生まれた雄の性行動抑制 環境研発表	朝日
86	2002, 1, 1	絶滅危惧種の「タイムカプセル」 生殖細胞を冷凍保存 ツシマヤマネコ、シマフクロウ… 将来、復元できる? 環境省	毎日
87	2002, 1, 5	ネズミに環境ホルモン疑惑物質 許容量以下で精子減 環境研が実証	朝日
88	2002, 1, 7	排ガスのナノ粒子調査 環境省、人体への影響研究	日経
89	2002, 1, 12	つくばの研究所は… 保護意識が低い? 低公害車導入1割に見たず 筑研協が調査 「予定ない」は6割	読売
90	2002, 1, 21	9つの公的研究機関 環境分野で連携強化	日経
91	2002, 1, 23	環境開発サミット 21世紀の道探る、開発が崩した自然との調和	読売
92	2002, 2, 1	利根かもめ大橋のヒノマイトンボ 姿消した? 波崎	茨城
93	2002, 2, 3	アジアの経験つなぎ新たな発展モデルを	朝日
94	2002, 2, 7	CO ₂ 測定法を共同研究	朝日
95	2002, 2, 10	アオコの被害防止策 アジア太平洋各国に 国立環境研など、技術移転	日経
96	2002, 2, 13	ヒノマイトンボ 県など環境調査終える 国立研究所研究員「生息の徹底確認を」	毎日
97	2002, 2, 17	ディーゼル微粒子9割除去 ヒノキ油脂で排ガスを浄化 高知工大などが開発	読売
98	2002, 3, 18	オゾン層破壊ガス 熱帯林も発生源か 環境研、アジアの植物分析	日経
99	2002, 3, 21	植物がオゾン破壊物質放出 つくばの国立環境研 英科学誌に発表	茨城
100	2002, 3, 25	地球環境推進費の02年度課題を選定 環境省	日刊工業
101	2002, 3, 26	超高速の情報網整備 民間企業参加促す つくばWAN開通	茨城